

## 1、2000人が健脚を競う



号砲とともに、大勢のランナーがスタート



高校生～80歳代の参加者が冬の成田を疾走

関東一円から多くのランナーが参加する「10マイル・10キロロードレース大会」が12月18日、市内で開催されました。国内最古のロードレースとして知られるこの大会の始まりは、昭和12年。以後昭和46年までは成田山門〜三里塚で開催されていましたが、成田空港の建設に伴い、昭和47年からは宗吾霊堂をスタート地点とする現在のコースに変更されました。歴代の出場者には、オリンピック金メダリストである高橋尚子さんの監督として有名な小出義雄さんや、女子マラソンを代表する増田明美さんなどが名を連ね、大会記録を樹立。現在も、大学の陸上部員や市民ランナーとして活動しているアスリートが多数出場しています。125回目の開催となる今回の大会には、約1、2000人が参加。一般男子・女子10マイルと、高校男子、高校・学生女子10キロ、壮年10キロ、一般女子10キロの部に分かれ、健脚を競いました。

## キーパーソン研究会

## あんぱんの開発をPR

経済産業省では、観光や産学連携などの専門家(キーパーソン)を地域に派遣し、新たな産業の育成や地域の活性化を促進する事業に取り組んでおり、その活動の成果を報告するための「キーパーソン研究会・成果報告会」が12月9日に開催されました。報告会には、成田ブランド推進プロジェクトチームも参加し、ご当地グルメとして開発している“あんぱん”をPR。経済産業省の担当者は「成田市が取り組んでいるあんぱんの開発が地域活性化のモデルケースとなるよう、海外展開も視野に入れて協力したい」と話していました。



開発中のあんぱんを試食する出席者

## 中郷地区駅伝競走大会

## ゴール目指して快走



次の走者まで頑張ろう

中郷地区の冬の恒例行事「中郷地区駅伝競走大会」が12月18日、中郷運動施設を発着点に開催されました。中郷地区内のコース(14.3キロメートル)を、選手たちは沿道からの声援に元気付けられながらゴールを目指して快走しました。新妻・野毛平チームが見事優勝。駅伝の後には、地区の人たちが用意した豚汁とお餅を食べ、会話に花を咲かせていました。

## 明治大学・成田社会人大学開講15周年

## 市が功労賞を受賞



クラシックや歌謡曲などの演奏が披露された



熱弁を振るう北野教授

明治大学創立130周年に合わせて、明治大学・成田社会人大学の開講15周年を記念する式典と記念講演、明治大学マンドリンOB倶楽部演奏会が12月17日、国際文化会館で行われました。式典では、明治大学との連携に積極的に関わっている自治体として、市が「明治大学創立130周年功労賞」を受賞。同大学の福宮副学長から小泉市長へ感謝状が贈呈されました。続いて行われた同大学理工学部教授・北野さんの記念講演のテーマは「安全・安心とリスクコミュニケーション」。食とエネルギーの安全と安心について、ユーモアを交えながらの講演に、会場を埋め尽くした参加者は、熱心にメモを取るなどして聴き入っていました。

## 放射線量測定器の貸し出し

## 身近な場所をチェック



簡単な操作で放射線量を確認

市では、市民や市内の自治会などを対象に、放射線量測定器を無料で貸し出しています。測定器は、堀場製作所製の「PA-1000 Radi」。電源を入れ、任意の場所に一定時間置いた後、約10秒ごとに表示される数値を5回記録し、その平均値を出すことで大気中の放射線量を測定することができます。貸し出し(予約制)は市役所、下総・大栄支所で行っており、多くの市民に利用されています。

※測定器の貸し出しについてくわしくは環境対策課(☎20-1532)

または同課ホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/sisei/sosiki/kantai/index0005.html>)へ。

## スポーツ少年団駅伝交流大会

## 元気いっぱいにたすきリレー



ゴールテープを切りガッツポーズ

市内のスポーツ少年団86チームが参加する「スポーツ少年団駅伝交流大会」が12月18日、中台運動公園で開催されました。野球・サッカー・バスケットボールなどのユニホーム姿の選手たちが懸命に走る姿に、見守る大勢の家族・チームメイトから熱い声援が送られていました。

結果は次の通りです。

優勝 成田SSS ルフィー(サッカー)

準優勝 ポレイロ・ポセイドン(サッカー)

第3位 マリーシアズ(野球)